

『17歳と70歳から見たそれぞれの愛』

17歳の私： 恋に落ちることは、素晴らしい冒険であり、発見への道だ。

70歳の私： 恋に落ちなくても、何かを発見することはできる。

実際、愛は明瞭な視力を妨げる一種の盲目です。

何かを本当に理解したいなら、中立的な観察者になるべきだ。

感情は判断力を鈍らせるからね。

17歳の私： 愛は人を豊かにするものだから、愛のチャンスはすべて受け入れるべき。

70歳の私： 多くの人が「愛」と「情熱」を混同している。

中途半端に多くの人を愛するよりも、一人を深く愛する方が良いと考えます。

深い恋愛関係には多くの時間とエネルギー、責任が伴う。

限られた資源を考えれば、新たなドラマを生むより、既存の関係を深めるほうが賢明だ。

17歳の私： 他人を愛するときは、本当の自分を相手に見せることができる。

70歳の私： 率直に言えば、人々はあなたの本当の姿にはあまり興味がない。

彼らが本当に知りたいのは、あなたが彼らのために何ができるかだけ。

多くの場合、他人を助ける最善の方法は、姿を現さないことです。

相手が重要な教訓を学べるよう、邪魔しないことが大切だ。

17歳の私： 肉体的な親密さは、愛の至福で優しい表現。

70歳の私： セックスと愛のつながりは、曖昧なものにすぎない。

セックスなしでも深い愛は経験できるし、

愛なしで肉体的な親密さを味わうこともできる。

本当に大切なのは、エネルギーをどこに向けるかだ。

官能的な欲望を追い求めるより、満足感を育むほうが賢明だろう。

17歳の私： あなたを待つ完璧な「ソウルメイト」が存在する。

70歳の私： 完璧な人間などいない。

時間をかけて努力すれば、パートナーは「十分に完璧」になれる。

実際、不完全さを受け入れることこそ、貴重な人生の教訓なのだ。

17歳の私： 自発性は美德。

欲望は求めも拒みもせず、いつ何時発生しても自然なプロセスとして受け入れるべきです。

70歳の私： 自制こそが美德。

ほとんどの欲望は決して満たされることはなく、一時的に満たされるだけです。

古い欲望にこだわり続けるのは、疲れるだけでなく、最終的には退屈。

古いパターンから何も学べないなら、なぜそれを続けるのか？

人は過去にしがみつ়くことで成長するのか、それとも新しい領域を探索することで成長するのか？



- 玲亜： 年齢を重ねるにつれて、愛に対する見方が変わるの間違いありません。
- ティン： 気づいたのは、自分の中に複数の視点が共存していること。それぞれの声は異なり、明確な単一のメッセージはめったにない。頭の中で、メッセージの不協和音が響き渡っているのが聞こえる。
- アンドレイ： やがて、あなたが占める頭蓋骨は空虚になる。 それぞれの声は異なり、明確な単一のメッセージであることはめったにない。頭の中でメッセージの不協和音が響き渡っているのが聞こえます。
- ミン： やがて、あなたの頭蓋骨は空になる。おそらくそのときは、静寂が訪れるだろう。

- T Newfields (和訳：新田博)

開始：2007年 東京都・完成：2022年 横浜市

